

議案第 22 号

幼児教育センターの機能等について

幼児教育センターの機能等を次のように定める。

令和 4 年 8 月 18 日提出

北九州教育委員会

教育長 田 島 裕 美

提案理由 幼児教育センターの新設にあたり、その機能等の必要な事項を定める必要があるので、この案を提出する。

【案】 幼児教育センター設置について

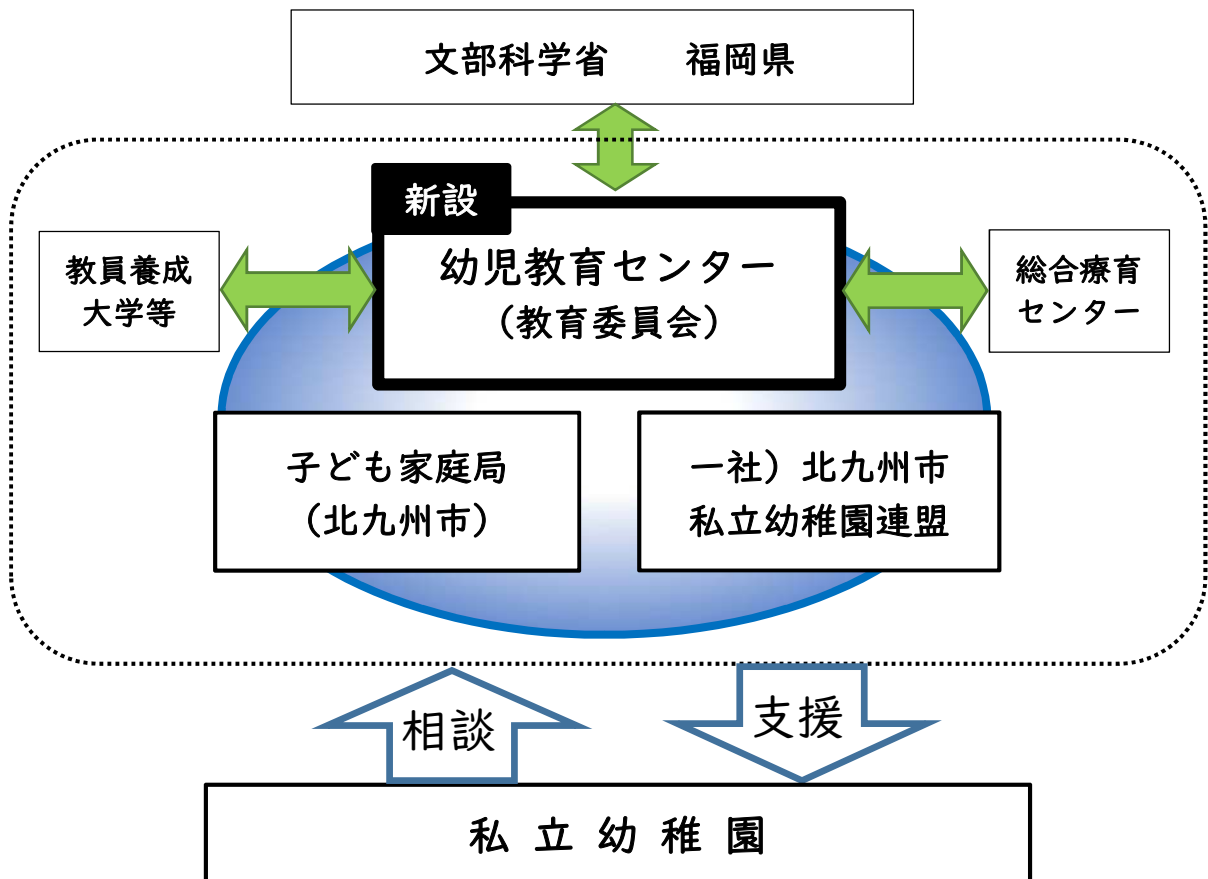
1. 概要

これまで本市では、教育センター内に幼児教育支援室を設置し、幼児教育への支援を行うとともに、幼稚園教諭対象の研修については公立私立問わず市全体へ門戸を開くなど、幼稚園教諭の資質向上に努めてきている。さらに、文部科学省委託事業である「幼児教育の推進体制事業」(H28~H30)においては、私立幼稚園を含む指定の小中学校区において年間を通じた保幼小連携事業を展開し、成果物として「北九州市版 幼児教育と小学校教育の接続カリキュラム」を作成した。本市の公立幼稚園については、令和7年3月末をもって現存する4園を全て廃止するが、今後も引き続き本市の幼児教育水準の維持向上に努めていくため、教育委員会内に「幼児教育センター」を設置し、私立幼稚園を教育面から支援する取り組みを推進する。

2. 主な機能

- 幼児教育における調査研究
- 幼稚園教諭の資質向上
- 特別な配慮を必要とする幼児の対応への支援

3. 体系図



※ 教育委員会・私立幼稚園連盟・子ども家庭局の三者を中心とした(仮称)北九州市幼児教育連絡会議を都度実施予定
(必要に応じ、福岡県等の関係者も参加)

4. 設置時期

令和5年4月1日

5. 設置場所

北九州市立教育センター内（北九州市八幡西区相生町20-1）

6. 人員体制について

幼児教育センター所長及び指導主事に加え、

- ・ 幼児教育推進員
 - ・ 幼児教育アドバイザー（登録制）
- を配置する。

※ 本務・兼務の区分や、人数等については、今後関係部局と協議を進める。

7. 幼児教育推進員及び幼児教育アドバイザーの業務内容について

	幼児教育推進員		幼児教育アドバイザー
	(幼児教育・人材育成)	(特別支援)	(専門別)
業務内容	<p>【幼児教育全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究園への助言・支援 ・ 園内研修等での講師（幼保小架け橋プログラム、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、教育課程、園マネジメント、園評価等） ・ 保幼小連携事業への助言・支援（交流事業、スタートカリキュラム作成推進等） <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育関連研修（新採研・主任研等）の講師 ・ 幼児教育アドバイザーとの連絡・調整 	<p>【特別支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園の要請に応じ、保育参観及び関わり方への助言 ・ 園内研修での講師（特別支援） ・ 関係機関（特別支援教育課、特別支援教育相談センター、総合療育センター、ひまわり学園、光の子学園等）との連絡・相談・情報共有・訪問依頼等 ・ 幼児教育アドバイザーとの連絡・調整 	<p>【各専門性を生かした分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園内研修等での講師 ・ 各場面における専門性を生かした助言 <p>例：幼児教育・保育の内容（運動遊び、読書活動など） 「食」「健康」に関わる保育の充実 保護者支援（親子関係、親への支援） 園運営、保護者・地域との関わり 幼児教育施設の防犯安全等</p> <p>※ 各園からの要請の内容に応じて、適宜アドバイザーを派遣する。</p>

幼児教育センターの役割「幼児教育への3つの支援」

幼児教育センター

① 幼児教育における調査研究

- 「幼稚園教育要領」の内容の充実に資する研究
- 「小学校教育への円滑な接続」に向けての調査研究
- 文部科学省の調査研究事業の受託・推進

② 幼稚園教諭の資質向上

- 幼稚園教諭の人材育成指針の作成
- 関係機関と連携した研修の体系化
- 現場の声を生かした効果的な研修の企画・実施
- 研修情報の発信

教育センター

- 研修の企画・運営
(一般の研修の中で、幼稚園教諭等も参加できるもの)
- サークル活動等の支援

③ 特別な配慮を必要とする幼児の対応への支援

- 園訪問・関わり方への助言
- 総合療育センターなどの関係機関との連携

特別支援教育相談センター

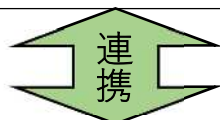
- 早期相談事業
※継続支援等が必要なケース等

特別支援教育課

- 目的別訪問
※専門性が必要なケース等

幼児教育における調査研究

国（文部科学省）
福岡県教育委員会



幼児教育センター

○ 「幼稚園教育要領」の内容の充実に資する研究

- ・ 幼児の学びを発達側面から捉えた「五つの領域」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について、分析・整理
- ・ 園内・園外研修等での活用
- ・ 幼児教育推進員・アドバイザー等による研究支援・助言

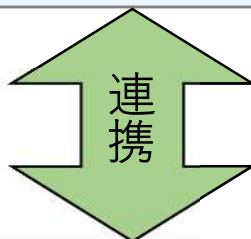
○ 「小学校教育への円滑な接続」に向けての調査・研究

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の接続について研究
- ・ 実践事例を分析・整理
- ・ リーフレット作成、市内の私立幼稚園・小学校・教員養成大学等へ配布

○ 文部科学省の調査研究事業の受託・推進

- ・ 架け橋プロジェクト等、文科省事業の受託・推進・発信

相談・助言依頼



情報発信・助言

私立幼稚園連盟
(教育研究委員会)

私立幼稚園
(研究実践園等)

保幼小連携事業
(子ども家庭局)

幼稚園教諭の資質向上

幼稚園教育要領(文部科学省)
幼保連携型認定こども園 教育・保育要領
(内閣府 文部科学省 厚生労働省)

市町村立幼稚園教員育成指標
(福岡県)

北九州市立学校の教員としての資質の向上に関する指標

・教員の資質育成指標を、ステージ0(教職準備期)
～ステージ4(教職資質発展期)に整理

保育者としての資質向上研修俯瞰図

(全日本私立幼稚園幼児教育研究機構)

これらを踏まえ

幼児教育センター

○ 幼稚園教諭の人材育成指針の作成

- ・ 既存の指針をベースに、福岡県作成分や有識者意見等を踏まえて作成

○ 研修の体系化

- ・ 新たに作成する人材育成指針に沿って、既存の研修(北九州市、私立幼稚園連盟、福岡県)を体系化

○ 現場の声を生かした効果的な研修の企画・実施

- ・ 体系化した研修を基に、幼稚園の現場の声や有識者意見等を踏まえ、実地研修等のニーズに応じた研修を企画・実施

○ 研修情報の発信

- ・ 研修情報に関する広報誌の作成・配付や、ホームページ・SNS等を活用した市内への幅広い情報提供

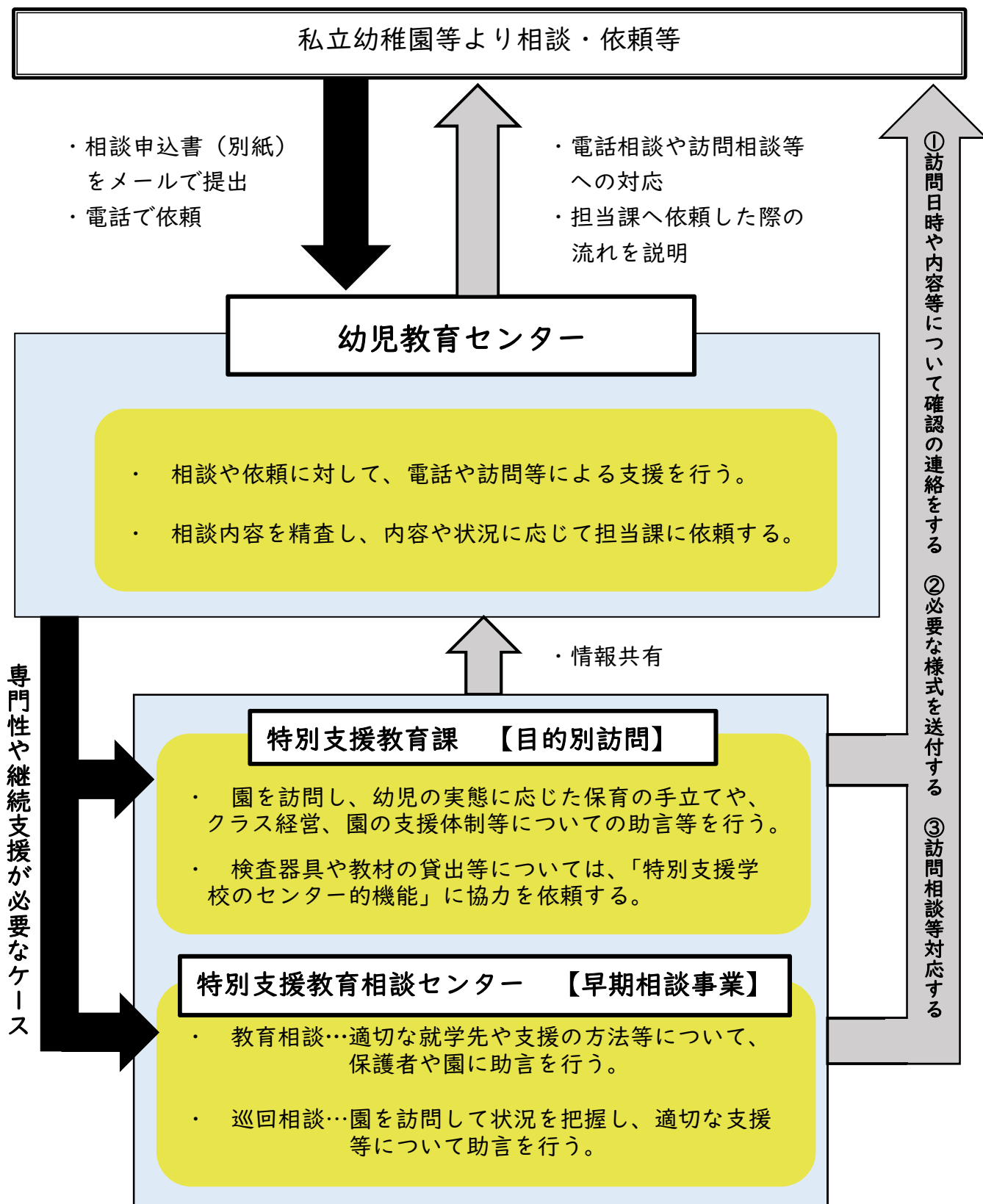
情報発信

連携

研修参加

私立幼稚園連盟

私立幼稚園等に対する特別支援教育に係る支援の流れ



令和4年度 幼児教育センター設置プロジェクトチーム

1 設置目的

本市の幼児教育を推進するための幼児教育センター設置に向けて、その業務内容や運営体制、構成員等について検討する。

2 構成メンバー

1	村上 順滋	連盟会長（あかつき幼稚園長）	私立幼稚園連盟
2	高原 恵子	教育研究委員長（認定こども園徳力団地幼稚園長）	
3	福江 國孝	財務委員長（認定こども園清和幼稚園長）	
4	一ノ宮 成美	市立幼稚園長会長（鷹の巣幼稚園長）	公立幼稚園
5	森友 由季子	小倉幼稚園長	
6	松田 陽一郎	幼稚園・子ども園課長	子ども家庭局
7	河崎 幸子	保育指導担当課長	
8	藤井 創一	学校教育課長 ※プロジェクトリーダー	教育委員会事務局
9	小西 友康	特別支援教育課長	
10	北野 里香	特別支援教育相談センター所長	
11	武藤 佐予	教育センター所長	
12	立花 昭一	教職員課長	
13	松本 聡	学校規模適正化担当課長	
14	奥村 和美	指導企画課長	
15	本庄 裕子	市丸小学校長	小学校長会

他 教育委員会 学校教育課、企画調整課、指導企画課 係長・指導主事

<有識者 アドバイザー>

那須 信樹	中村学園大学教育学部 教授	R3.4「公立幼稚園の在り方」 学識経験者意見
倉光 晃子	西南学院大学人間科学部 准教授	
寺本 普見子	東筑紫短期大学保育学科 教授	保育学科長
山口 若菜	総合療育センター医師（精神科）	北九州市教育支援委員会 委員

■ 幼児教育にかかわる関係行政機関の所管事務（役割分担）について

令和4年8月18日 学校教育課

